

令和8年度 入学式 校長式辞 概要

本校のスクールポリシーのモットーは「文武両道」です。

今日は、この言葉をより深く実践していくために、二つの禅の言葉を皆さんに贈りたいと思います。

一つ目は「照顧脚下(しょうこ きゃっか)」という言葉です。

禅寺の入口などでよく見かける言葉で、「自分の足元をよく見つめなさい」という意味です。高校生活が始まると、進路への志や部活動での大きな目標を掲げることでしょう。それは非常に尊いことです。しかし、高き山に登るためには、まず目の前の一步を確実に踏み出す勇気が必要です。

「今の自分はどこに立っているのか」「今日という一日を丁寧に生きているか」不確かな時代だからこそ浮足立つことなく、自分の足元を見つめ、着実な一步を積み重ねてください。その継続こそが、皆さんを遥かなる目標へと導く道となります。

二つ目は、市尼が大切にしてきた精神をさらに深めた考え方、「文武一如(いちによ)」です。「一如(いちによ)」とは、二つのものが本来ひとつであるという意味です。机に向かう集中力と、グラウンドやコートで発揮される集中力は別物ではありません。部活動で培う粘り強さ、礼儀、仲間を思いやる心は、必ず学びの場においても皆さんの力となります。

「文」によって智慧を磨き、「武」によって心身を鍛える。その両輪が揃ってこそ、一人の人間としての真の成長があります。高校生活では、自由が増える反面、自律的な行動と責任が求められます。

うまくいかない時や壁にぶつかった時こそ、この「照顧脚下(しょうこきゃっか)」で己を省み、「文武一如(ぶんぶいちによ)」の精神で知性と感性を一体のものとして磨きあげてください。

幸い、ここ市尼には、同じ志を持つ仲間と、皆さんの情熱に応える教職員がいます。互いに励まし合い、高め合いながら、この三年間を駆け抜けて下さい。市尼で過ごす日々は、皆さんの人生を支えるかけがえのない土台となります。失敗を恐れず、しかし地に足をつけて努力を重ねてください。皆さんが市尼の新しい歴史を創り出す存在へと成長することを心から期待しています。

令和8年4月8日
尼崎市立尼崎高等学校校長
石川 一